

ゆめーる・かほく

〔中学校版〕

2013. 9. 10
No. 9
山鹿市教育委員会
教育総務課
鹿北中学校

防災訓練教室

8月26日(月)に、
防災教室を行いました。
目的は、以下の4つです。

- ①災害時に地域のリーダーとなって活動する生徒を育成する。
 - ②災害意識の高揚と災害時の望ましい知識や態度を身に付ける。
 - ③地区生徒会の活性化と地域の結びつきを強める。
 - ④鹿北中生としてのプライド、地域のリーダーとしてのプライドをもつ。
- 昨年度の内容に、起震車・煙ハウス体験、引き渡し訓練などを付け加えました。
- 九州に2台しかない起震車体験で、子どもたちは自分の身を守るために

必死に机にしがみついていた。また、煙ハウス体験では、煙で周りが見えにくくなっている中、腰を低くしてハンカチで口元を押さえ、出口を探していました。

はじめての引き渡しの訓練では、新たな課題も見つかりましたが、保護者の方々に全員無事に引き渡すことができました。ご協力、ありがとうございました。



〔生徒の感想〕

去年は防災キャンプで学校に泊まりました。今年は半日でしたが、貴重な体験をすることができました。煙ハウスでは周りが全く見え、パニックになりました。実際に怖かったです。実際の煙だと目も開けられないので、大変だと思います。起震車で、心の準備ができていたにも関わらず、揺れが大きくなるにつれてとても驚きました。実際は突然揺れが来るので、しっかりと頭に残しておきたいです。この訓練で、自分の命を守ることを優先することの大切さを学ぶことができました。



ケータイ安全教室

生徒が正しい知識を持った上で携帯電話を使用するよう、9月5日(木)に、ケータイ安全教室を実施しました。携帯電話の安全な使い方とマナーについて、インストラクターから話を聞きました。

- 子どもたちに、注意点として以下の3点を強調されました。
- ①公開範囲を設定する。
 - ②書き込む内容に注意する。
 - ③知らない人と友だちにならない。

また、ケータイを使う時間と直接会う時間をうまく使い分けないと、ケータイ依存になるということも話されました。ケータイを扱うときの責任の重さを全員で痛感しました。

ご家庭でも、家族みんなでお話し合われてみてはいかがでしょうか。

〔生徒の感想〕

携帯電話の使い方方を誤ると改めて怖いものだと感じました。面と向かえば相手がどのようなか伝わりませんが、文字にするのと伝わりにくいので、相手を傷つけたり自殺に追い込んだりすることもあると分かりました。絶対にそうならないように、常に意識して使わなければならぬと思います。(3年生)

今回の講話を聞いて、個人情報や他の人の情報を流したり、知らない人と友だちになつたりしてはいけないなどのことを知りました。また、フィリングをするなどの大切さも分かりました。(2年生)